



2017年3月期上期

連結決算の概要

テルモ株式会社

代表者 代表取締役社長 新宅 祐太郎
問合せ先責任者 広報室長 大曲 昌夫

TEL : 03-6742-8550

E-mail : kouhou_terumo01@terumo.co.jp

URL : <http://www.terumo.co.jp/>

2016年11月10日

2017年3月期 上期 決算概要

テルモ株式会社
常務執行役員 IR・広報室担当
北畠 一明

2016年11月10日

為替影響を乗り越え、営業利益は過去最高

(億円)

	15年度上期	16年度上期	増減率	為替除く 増減率
売上高	2,592	2,451	-5%	+5%
粗利益	1,394 (53.8%)	1,360 (55.5%)	-2%	+8%
一般管理費	844 (32.6%)	803 (32.8%)	-5%	+5%
研究開発費	159 (6.1%)	163 (6.6%)	+3%	+11%
営業利益	391 (15.1%)	394 (16.1%)	+1%	+11%
(のれん等償却除く)	493 (19.0%)	486 (19.8%)	-2%	+10%
経常利益	358 (13.8%)	306 (12.5%)	-14%	
純利益	270 (10.4%)	204 (8.3%)	-24%	

期中平均レート
 USD 122円 / 105円
 EUR 135円 / 118円

- 売上高 : 為替を除き日本・海外ともにプラス伸長。心臓血管は継続して二桁伸長
- 営業利益 : カテーテルを中心とした高収益品の拡大、品質システム改善コスト減で増益
- 経常利益 : 為替差損66億円。外貨建て債権圧縮によりQ2の差損減少
- 純利益 : 為替差損と前年同期の土地売却益の影響で減益

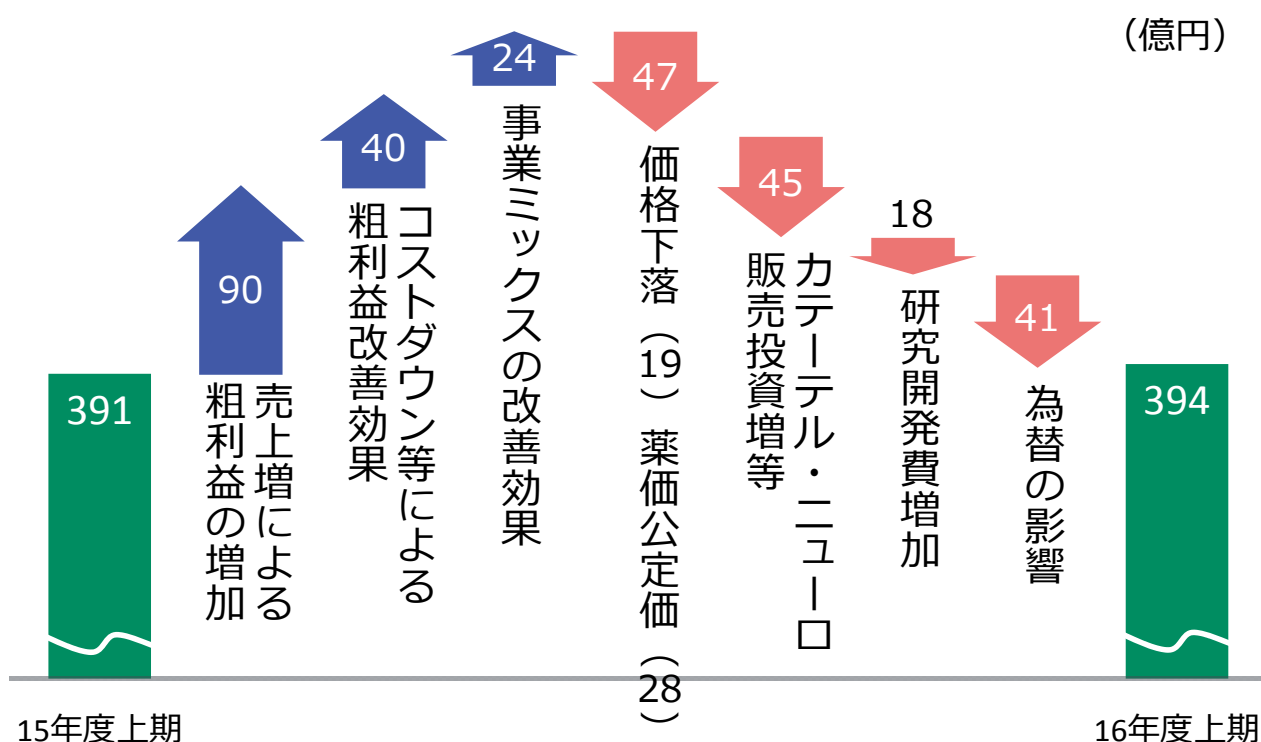
外貨建て債権を圧縮し、営業外為替変動リスクを縮小

- USD建て債権はFY15末\$600M→FY16Q2末\$100M程度に圧縮
- 上期差損実績：66億円 (FY16 Q1：55億円、Q2：11億円)

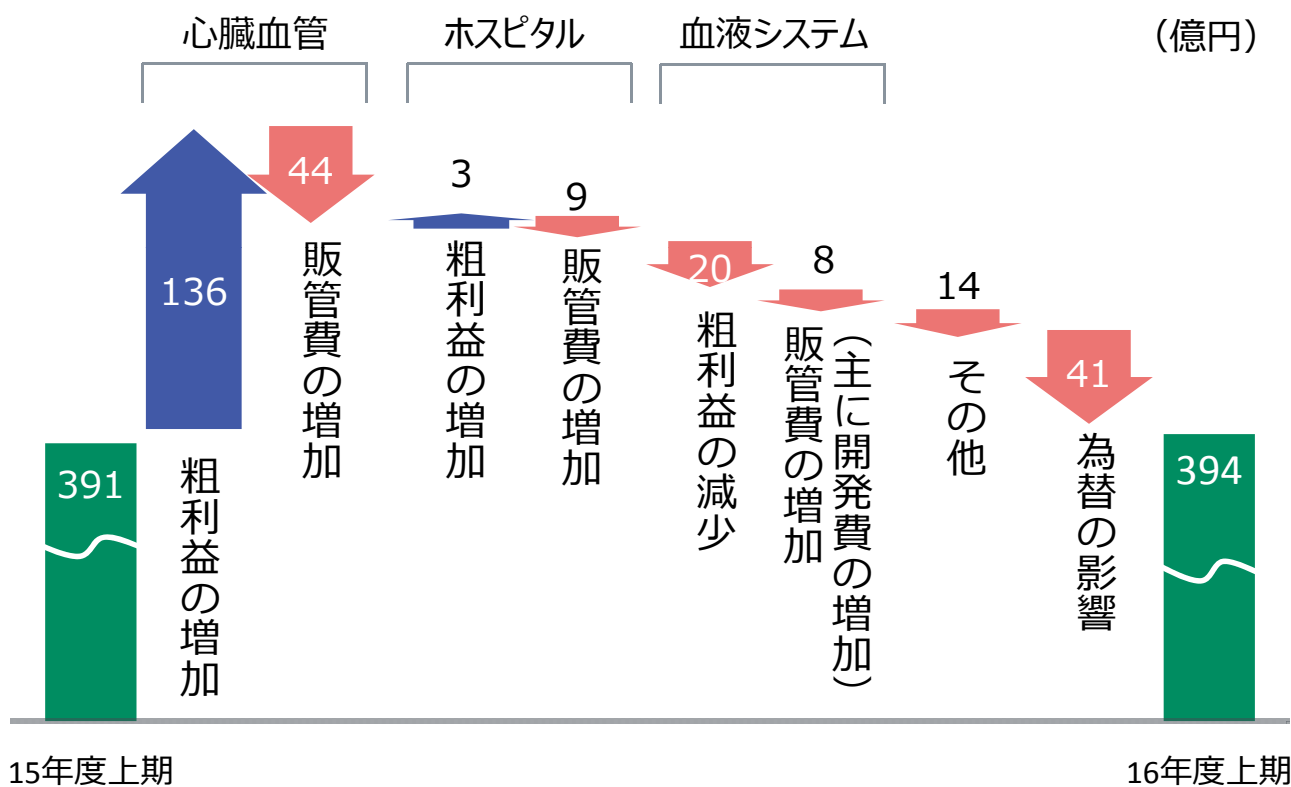
	レート推移 (円)			上期実績 (億円)	
	15年度末	16年度Q1末	16年度Q2末	16年度Q1	16年度Q2
USD	112.68	102.91	101.12	-46	-9*
人民元	17.39	15.46	15.14	-5	-1
EUR	127.70	114.39	113.36	-3	0
その他通貨		-		-1	-1
計		-		-55	-11

*Sequent Medical買収送金時に生じた差損7億円を含む

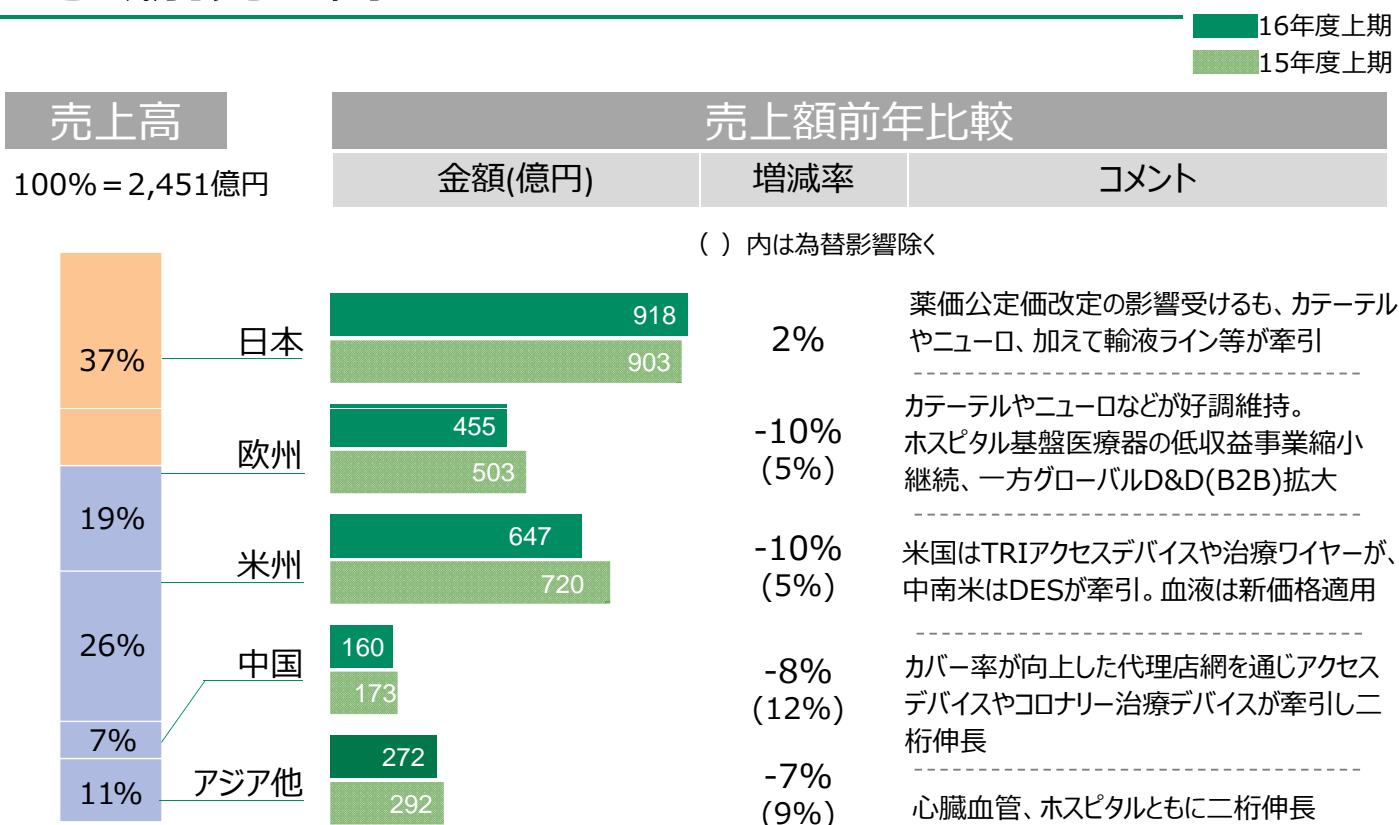
営業利益増減分析



営業利益増減分析



地域別売上高



カンパニー別売上高

16年度上期
15年度上期

売上高

100% = 2,451億円



心臓血管
ホスピタル
血液システム

売上額前年比較

金額(億円)	増減率	コメント
1215 1255	-3% (10%)	カテーテル・ニューロに加え、人工血管もグローバルで二桁伸長し全体を牽引
782 808	-3% (0%)	欧州・中南米は低収益事業縮小を継続 アジアは二桁伸長維持。日本は輸液ラインが伸長も、造影剤代理販売終了の影響
452 528	-14% (-1%)	米国血液センター向け製品の価格適用の影響を受けるも回復基調 為替除く売上伸長(Q1⇒Q2): 7%

() 内は為替影響除く



心臓血管:高収益なアクセスデバイス、 कोरोナリー治療デバイスが牽引し二桁増益

(億円)

	15年度上期	16年度上期	増減率	主なトピック	金額
売上高	1255	1215	-3% (10%)	為替のマイナス影響	- 164
				日本: 公定価改定の影響を跳ね返し、 कोरोナリー治療デバイスや、ニューロが好調維持	+ 17
				海外: कोरोナリー治療デバイスおよびアクセスデバイスが継続して二桁伸長	+106
事業利益(率)	293 (23%)	330 (27%)	13% (32%)	高収益なアクセスデバイスや कोरोナリー治療デバイスが牽引 ミサゴのリコール、Sequent Medical買収の影響	- 13

() 内は為替影響除く



ホスピタル：薬価改定や低収益事業縮小で減収も、収益性は改善基調

					(億円)		
		15年度上期	16年度上期	増減率	主なトピック	金額	
売上高	() 内は為替影響除く						
	為替のマイナス影響						- 28
	海外：欧州・中南米は低収益事業縮小						- 9
	アジアは留置針などが牽引し好調						+11
	日本：輸液ラインなどが伸長						+10
薬価改定、造影剤代理販売終了						- 14	
事業利益(率)	117 (15%)	112 (14%)	-4% (-5%)	在庫評価差や、金利低下による年金コスト増の影響が残るものの、事業利益率は緩やかに改善基調 事業利益率 Q1: 14% ⇒ Q2: 15%			

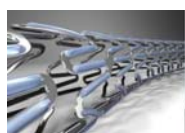
血液システム：米国新価格適用のマイナス影響は上期で概ね一巡

					(億円)		
		15年度上期	16年度上期	増減率	主なトピック	金額	
売上高	() 内は為替影響除く						
	為替のマイナス影響						- 69
	米国血液センター向け製品の価格適用のマイナス影響						- 14
	欧州・中南米中心にアフレス治療が伸長						+ 7
事業利益(率)	100 (19%)	65 (14%)	-35% (-28%)	日本およびアジアの血液センター向け製品が復調、Q1からQ2への売上増に伴い収益性は回復基調 事業利益率 Q1: 12% ⇒ Q2: 17%			

Q2 主なトピックス

全社

- 成長投資資金の保有を目的にシンガポールに新会社設立（8月）
- ハートシートが「産学官連携功労者表彰・厚生労働大臣賞」受賞（8月）
- 2016年度グッドデザイン賞受賞（9月）



「Ultimaster」



「テルバックエコ」



「ロイコムドCフィルムドレッシング」

事業

- 日本で血液自動製剤化システム「TACSI」ローンチ（7月）
- 日本で「Ultimaster」4mmローンチ（8月）
- 日本で採血用穿刺器具「メディセーフファインタッチⅡ」ローンチ（9月）



11/14

16年度パイプライン製品のローンチ状況

領域	製品	地域	ローンチ
心臓	DES (Ultimaster)	仏	済み
	DES (Ultimaster) 4.0mm品種追加	日	済み
イメージング	IVUS	日	
ペリフェラル	PTAバルーン (膝下, RX/OTW)	日・米・欧	日米:済み
	PTAバルーン (膝上・下両用,RX/OTW)	日・米・欧	日米:済み
	PTAバルーン (膝上, RX/OTW)	日・米・欧	済み
脳	プロテクションデバイス	欧	
オンコロジー	放射線塞栓ビーズ (Quirem)	欧	

◎ 業績貢献 大、★ イノベーション度 高

領域	製品	地域	ローンチ
CV	遠心ポンプ装置	亜	
再生	ハートシート	日	済み
D&D	皮内投与デバイス	日	FY17 予定
	癒着防止材	日	承認済み Q4発売
DM	血糖計 (フィットスマイル)	中	
血液	自動製剤化システム	日	済み



「Ultimaster」4mm 日本(Q2)



自動製剤化システム 「TACSI」 日本(Q2)



癒着防止材 承認・日本(Q4発売)



12/14

業績予想の修正

- 為替影響およびSequent Medical買収の影響を考慮し業績予想を修正

(億円)

	売上高	営業利益	経常利益	純利益
従来予想	5,170	750	710	525
今回修正予想	5,170	750	650	475
修正額	-	-	-60	-50

為替レート 下期 USD=105円、EUR=115円
通期 USD=105円、EUR=116円

- 下期業績のポイント

- 海外カテーテルが好調という基本トレンドは変わらず
- 止血デバイス等買収が成立した場合の一時的な利益への影響
- 経常利益以下は、年度末の為替レートの変動によって変わる可能性あり

会計基準の変更

- 2018年3月期決算からIFRSを適用

- 2018年3月期 Q1~Q3 日本基準ベース
期末 IFRSベース

- グローバルスタンダードへ変更

- 財務情報の国際的な比較が容易に
- グループ会計基準統一による経営管理とガバナンスの強化

- 変更の主な収益影響

- 日本基準におけるのれん償却は行わない

2017年3月期 上期 連結決算 補足資料

セグメント別売上概況

(単位:百万円)

%=前年比

	2016年3月期 上期			2017年3月期 上期					
	日本	海外	合計	日本	%	海外	%	合計	%
TIS	16,063	69,846	85,910	17,424	8.5%	67,293	-3.7%	84,717	-1.4%
ニューロバスキューラー	1,117	11,236	12,353	1,429	27.9%	10,449	-7.0%	11,879	-3.8%
CV	4,625	16,145	20,771	4,728	2.2%	13,997	-13.3%	18,726	-9.8%
血管	967	5,539	6,506	917	-5.1%	5,299	-4.3%	6,216	-4.5%
心臓血管カンパニー	22,774	102,768	125,542	24,500	7.6%	97,039	-5.6%	121,540	-3.2%
基盤医療器	24,241	14,065	38,306	25,131	3.7%	12,424	-11.7%	37,555	-2.0%
D&D	27,278	2,707	29,985	25,881	-5.1%	2,703	-0.1%	28,584	-4.7%
DM・ヘルスケア	10,485	2,052	12,537	10,473	-0.1%	1,629	-20.6%	12,102	-3.5%
ホスピタルカンパニー	62,004	18,825	80,830	61,485	-0.8%	16,756	-11.0%	78,242	-3.2%
血液システムカンパニー	5,564	47,230	52,794	5,717	2.8%	39,510	-16.3%	45,227	-14.3%
その他	-	-	-	100	-	-	-	100	-
計	90,343	168,823	259,167	91,803	1.6%	153,306	-9.2%	245,110	-5.4%

(期中平均為替レート)

(USD1=¥121.87)
(EUR1=¥135.11)

(USD1=¥105.20)
(EUR1=¥118.04)

キャッシュ・フロー計算書(要約)

	2016年3月期 上期	2017年3月期 上期
営業キャッシュ・フロー	34,670	39,830
投資キャッシュ・フロー	△ 4,420	△ 45,637
フリーキャッシュ・フロー	30,250	△ 5,806
財務キャッシュ・フロー	△ 17,289	21,408
現金及び現金同等物の換算差額	△ 951	△ 9,455
現金及び現金同等物の増減	12,009	6,145
現金及び現金同等物の期首残高	176,662	146,927
現金及び現金同等物の期末残高	188,671	153,072

参考情報

	2016年3月期 上期	2017年3月期 上期	2017年3月期 見通し
研究開発費	15,871	16,274	35,500
設備投資額	14,862	15,910	39,000
減価償却費	21,990	21,111	44,000
一株当たり当期純利益(円)	71.50	56.27	130.87

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。